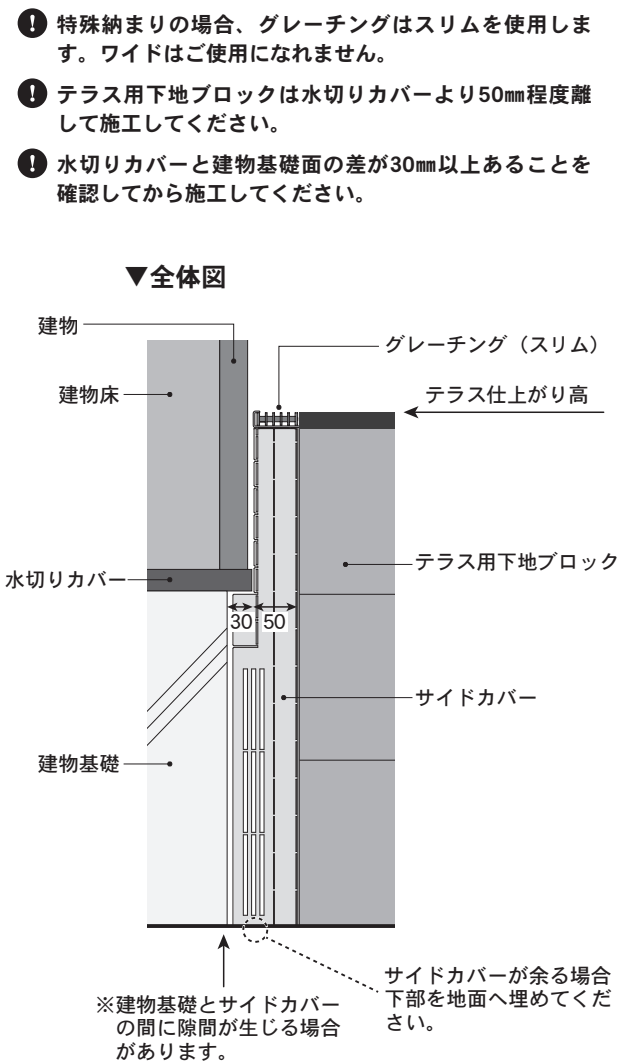


施工方法（サイドカバー）

特殊納まり（水切りカバーに対して建物基礎が 30 mm以上凹んでいる場合）

1 グレーチングはスリムを使用します。 サイドカバーを折り線Aで直角に折り曲げます。 ⚠ 折り線Bは使用しません。折り曲げないでください。	サイドカバー 折り線A ※直角に折り曲げる
2 サイドカバーを仮設置し、建物外壁や水切りカバーが当たる部分のみ折り線で直角に折り曲げます。 上から見た図 建物側 水切りカバー サイドカバー タイル	グレーチング（スリム） テラス仕上がり高 サイドカバー テラス用下地ブロック 当たる部分のみ折り曲げる 建物外壁 建物床 水切りカバー 建物基礎
3 サイドカバーとテラス用下地ブロックが触れる面に接着剤を塗布します。 取付位置に合わせてサイドカバーをテラス用下地ブロック面に圧着し、養生テープ等で固定します。 接着剤が完全に硬化したら、テープを剥がします。	拡大図 接着剤塗布箇所 サイドカバーとテラス用下地ブロックが触れる面に接着剤を塗布する サイドカバー テラス用下地ブロック



お手入れ方法

- 付着した汚れは、柔らかい布で水拭きをした後、柔らかい乾いた布で水分を充分に拭き取ってください。拭き取る際は、キズがつかないようにご注意ください。ヘアラインの場合は、目に沿って拭くようにしてください。
- 汚れが目立つ際は、水で薄めた中性洗剤で拭き、充分に水拭きを行なってください。
- ゴミなどの付着物を放置すると錆発生の原因となりますので、定期的に水で洗い流す事をおすすめします。
- 海水などの塩分を含んだものが付着した際は、水で洗い流し、充分に拭き取ってください。

 注意	■ ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなります。ご了承ください。また、鉄粉など表面に付着したまま放置すると錆が発生しますので、必ず拭き取るようにしてください。 ■ ステンレスの切断面は安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので素手で触れないようご注意ください。 ■ お手入れの際、研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は使用しないでください。 ■ 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレー等は変色の恐れがあるため商品にかからないようご注意ください。
---------------	--

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

Terrace edge
テラスエッジ

取付取扱説明書

資材

施工店様へ

- 安全上のご注意は、施工前に必ずお読みください。
- 必ずこの取付・取扱説明書に従って正しく施工してください。
- 引き渡しの際は、取付・取扱説明書に従って取扱方法を施主様にご説明いただき、取付・取扱説明書は必ず施主様にお渡しください。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◎誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害度を、次の区分で説明しています。 ◎本文中や本体に使われている図記号の意味は以下の通りです。

 警告	「死亡や重傷を負う恐れがある」内容です。	 禁止	「絶対してはいけない」内容です。
 注意	「傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある」内容です。	 指示を守る	「実行しなければならない」内容です。

 警告	■ 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 不安定な場所に設置しないでください。また、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。 ■ 強い振動や衝撃等のある不安定な場所に設置しないでください。ケガ・事故・商品破損の原因となります。 ■ 商品の耐荷重はタイルトレイ 150 kg、テラスエッジ 200 kgです。指定範囲以上の荷重がかかる場所では使用しないでください。 ■ 施工時や移動時など手を挟まないようご注意ください。 ■ 隙間に手や指を入れないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 破損したままでの使用は絶対にやめてください。
 指示を守る	■ 異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、販売店または工事店にご相談ください。 (例) ・部品の破損がある ・異音がする ・腐食などによる機能、性能の低下

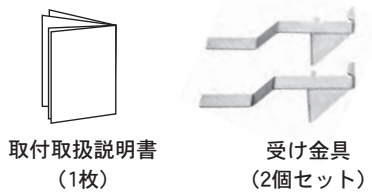
 禁止	■ 火気を近づけないでください。変色の原因となります。 ■ 商品の上に重たいものを落とさないでください。変形の原因となります。 ■ 商品の上で飛び跳ねないでください。変形の原因となります。
 指示を守る	■ 商品は壁に立てかけず、床の上に置いてください。倒れてケガの原因になります。 ■ モルタルなどが付着した際は、早めに拭き取ってください。 ■ 現場加工用のカットタイプは、切断面の後処理を行ってください。処理が不十分な場合、錆が発生します。

施工上・取扱上のご注意 ※必ずお守りください。

- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。商品の運搬・商品の取り付け・サイドカバーの折り曲げ作業をする際は、必ず保護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 商品に寄り掛かったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。
- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 施工完了後は施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
- 定期的に各部の点検・清掃を行ってください。故障の原因となります。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基づいた処理をお願いします。

施工される前に ※ご確認ください。

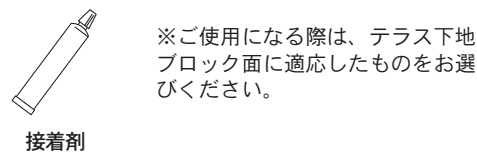
付 属 品 ※不備がないかご確認ください。



ストッパー使用時 受け金具のサイドのパーツを折り曲げると、グレーチングの横すべりのストッパーになります。

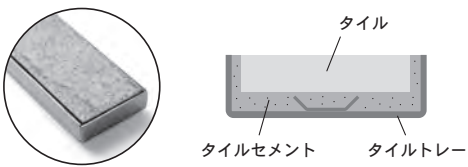


準備するもの サイドカバーをご購入の方のみ。

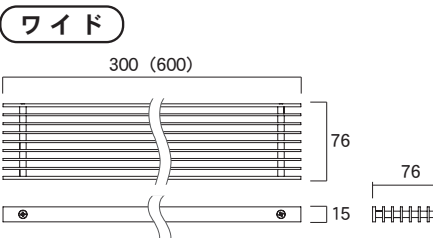
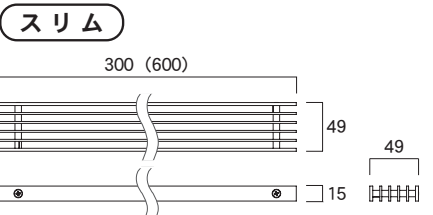


※ご使用になる際は、テラス下地ブロック面に適応したものをお選びください。

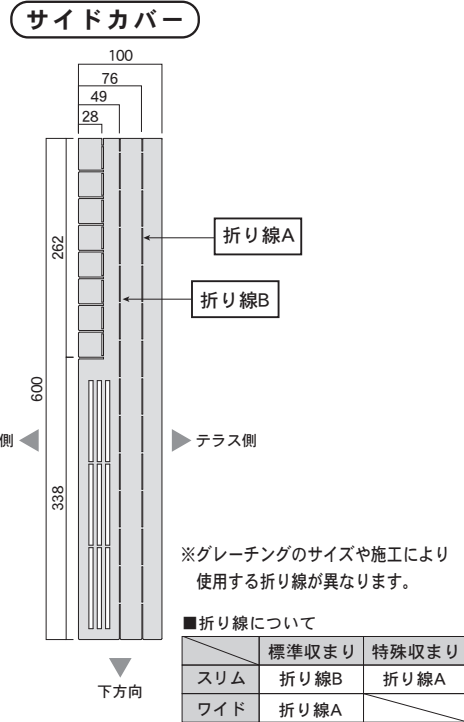
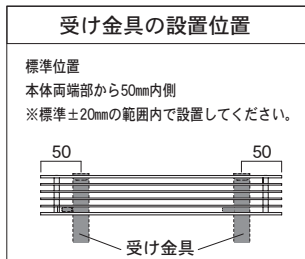
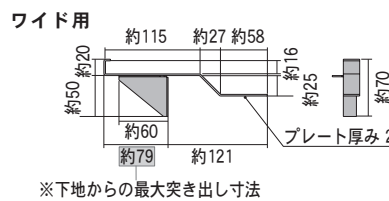
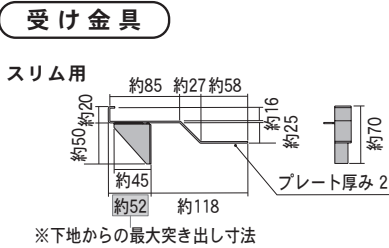
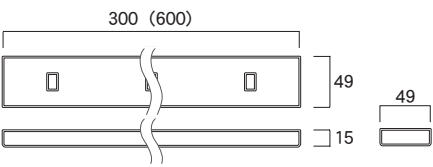
タイルトレイ使用イメージ タイルをカットして、セメント、タイルの順に施工。



製品寸法



タイルトレイ ※（ ）内は600の寸法



※グレーチングのサイズや施工により使用する折り線が異なります。

■折り線について		
	標準収まり	特殊収まり
スリム	折り線B	折り線A
ワイド	折り線A	

施工方法（グレーチング）

1 テラス用下地ブロック作成

テラス用下地ブロックの立上がり面に受け金具を密着させ、受け金具と建物外壁が触れない位置にテラス用下地ブロックを設置します。受け金具と建物外壁が触れないように、すき間を開けてください。

外壁やサッシ枠などの突出部とのクリアランス（間隔）は現場の状況に合わせて調整してください。

2 下地土間打設（受け金具の固定）

上部内側の立ち上がりを欠いて、先ほどと同じように受け金具をブロック立上がり面に密着させて設置します。団子状にしたモルタル等で仮固定します。テラスの下地土間コンクリートを打設し、受け金具を本固定します。

⚠ 受け金具の三角形プレートが下地ブロックと離れるとたわみの原因となりますのでご注意ください。

3 床の仕上げ・下地土間打設

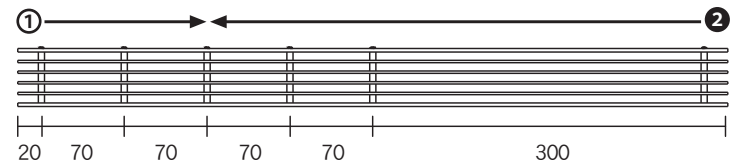
タイル天面とグレーチングの厚さ（15mm）が面一になるよう下地モルタルの厚さを調整してください。

※タイルを貼る際、本体を仮置きして、施工後に受け金具からの脱着が可能であることをご確認ください。

4 本体の設置

最後に受け金具に本体をセットしてください。受け金具の先端に折り返しが付いているので、先端へ滑り込ませるようセットするとスムーズに取り付けられます。

カットタイプ（現場加工）カット方法



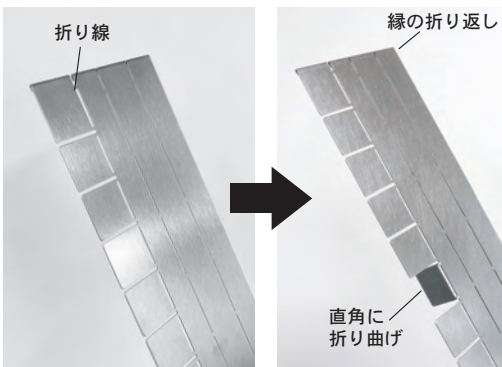
- ① 使用寸法が 300 未満の場合
リブが多い方（図面左側）から計測し切断してください。
- ② 使用寸法が 300 以上の場合
リブが少ない方（図面右側）から計測し切断してください。

切断面の後処理

カットタイプの切断面の後処理は、切断面のバリを取り除き、切断時に発生した粉塵は除去してください。

❗ 後処理をせず使用すると錆が発生しますので、切断後は必ず切断面の処理を行ってください。

施工方法（サイドカバー）



サイドカバーは、折り線に沿って直角に折り曲げることができます。また、サイドカバーに表裏は無く、折り曲げる向きを変えてテラスの左右両側に取り付けることができます。サイドカバーを折り曲げる向きによって、縁の折り返しが外側に出る場合がありますが、施工には問題ありません。

⚠ 注意 ⚠

- ❗ サイドカバーを折り曲げる際は、必ず保護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- ❗ テラスの左右両側にサイドカバーを使用する場合、曲げる向きは左右それぞれ異なります。それぞれ折り返す向きに注意してください。

標準納まり（水切りカバーだけが突出している場合）

1

グレーチングがスリムの場合は、サイドカバーを折り線Bで直角に折り曲げます。グレーチングがワイドの場合は、サイドカバーを折り線Aで直角に折り曲げます。

⚠ グレーチングのサイズに合った折り線のみを折り曲げてください。

2

サイドカバーを仮設置し、水切りカバーが当たる部分のみ折り線で直角に折り曲げます。

3

サイドカバーとテラス用下地ブロックが触れる面に接着剤を塗布します。取付位置に合わせてサイドカバーをテラス用下地ブロック面に圧着し、養生テープ等で固定します。接着剤が完全に硬化したら、テープを剥がします。

